

6月県議会開会

村井知事12年と県政のゆがみ

日本共産党は県民の立場にたった提案でただす

いよいよ論戦はじまる

〈一般質問の予定〉



角野達也県議

6月28日(水)
午前10時半すぎ

1. 村井県政の診断書〜三つの問題点
2. ただちに実施すべき三つの緊急提案
 - ・ 心身障害者医療費助成の拡充
 - ・ 35人以下学級の実施
 - ・ 給付型奨学金の創設



中嶋 廉県議

6月29日(木)
午後1時半すぎ

1. 石炭火力の害悪を許すな
2. 放射能汚染防止、「二斉焼却」中止を
3. 原発行政の大転換を求める
4. 水産特区の検証、廃止を求める
5. 安倍暴走政権に立ち向かう地方自治の精神発揮の県政に

〈予算特別委員会・総括質疑〉



大内真理県議

6月30日(金)
午前11時すぎ

1. 水素エネルギー利活用と、環境問題について
2. その他

〈最終日討論〉



三浦一敏県議

7月6日(木)
午後1時すぎ

知事がヒバクシヤ国際署名に賛同署名

宮城県の村井嘉浩知事は9日、県原爆被害者の会（はぎの会）の求めに応じて、核兵器の廃絶を求めるヒバクシヤ国際署名に署名しました。村井知事が核兵器廃絶を求める署名に応じたのは初めてです。

県原爆被害者の会の早坂博顧問と木村緋紗子事務局長、波多野明美さんが県庁を訪れ、「私たちが体験した生き地獄を絶対に体験させたくないががんばっています。ぜひとも知事に名前を書いていただきたい」と知事に訴えました。



村井知事は、「核兵器の廃絶は、唯一の被爆国である日本の国是だと思っている。知事としてやれることは限られているが、みなさんと一緒に汗を

流していきたい」と答え、署名しました。5会派の県議が同席し、日本共産党は遠藤いく子県議が参加しました。

【遠藤いく子県議の話】

核兵器をなくしたいという被ばく者の長年の思いと運動が届いたものと胸が熱くなりました。美里町長の時から核廃絶運動に取り組んできた佐々木功悦県議が努力してくださいました。引き続き会派を超えた運動で、核兵器廃絶に向かって頑張ります。

ぜひ議会傍聴においでください



日本共産党
県議団ニュース

2017年6月号外
発行:日本共産党宮城県議会議員団
(事務所) TEL 022(267)1511
(控室) TEL 022(211)3523
FAX 022(268)6093
http://www.jcpmk.jp/



新潟県調査(5月15日)



静岡県調査(5月9日)